

取引先と一丸となって発展を目指す ～溶接技術競技大会に合わせて展示商談会を開催～

●一般社団法人山梨県鉄構溶接協会

TOPICS

一般社団法人山梨県鉄構溶接協会(清水一彦会長 61会員)は、溶接技術者の養成と溶接技術の向上を目指し、技能講習や職業訓練に力を入れている。6月10日(土)に甲府・ポリテクセンター山梨で開催した第50回山梨県溶接技術競技大会と第9回山梨県高等学校溶接競技会にあわせて、初めて



賛助会員企業の出展ブースには多くの方が訪れた

の取り組みとして、会員の取引先による展示商談会も同時に開催した。

展示商談会には、溶接機メーカーの実演車3台を含め会員・賛助会員8社が出展。ポリテクセンターの駐車場に設置された各社のテントブースには、会員企業や競技大会の参加者、関係者が訪れ、出展各社の様々な商品・製品を手に取り、最新の技術情報に熱心に耳を傾けるとともに、各所で交流が図られていた。

清水会長は、「今回の展示商談会は、会員が日頃お世話になっている賛助会員企業や取引先企業の商品・製品や技術を詳しく知ってもらい交流を深め、仕事の相乗効果をはかることを目的として初めて開催した。業界の先行きは不透明だが、来るべきオリンピックの特需を逃さないために会員と賛助会員や関連取引先企業と手を携えて、業界一丸となって発



競技大会の出場選手25名

展を目指していきたい。」と語った。

なお、第50回の記念大会となった溶接技術競技大会には会員企業9社から25名が参加し、優秀者は10月に行われる全国競技会に県の代表として出場する。また、9回目となった高校生の溶接競技会には高校で溶接技術を学んでいる7校から26名が参加、2年生以下の上位優秀者2名は県代表として来年4月に開催される関東大会に出場し、関東ブロックでの上位入賞を目指すこととなった。